



ちばりは ニュース

2021年11月発行 第46号

千葉県千葉リハビリテーションセンターの理念と基本方針

理念

「誰もが街で暮らすために」

Everybody will be in own town

— 私たちは障害児・者の自立と社会参加に向けて良質な医療と福祉を提供します—

基本方針

- 利用者の意思と個性を尊重し、専門職の協働による包括的リハビリテーションを実践します。
- 日々の研鑽により自らの人間性と専門性の向上を図り、安全で質の高いサービスを約束します。
- 地域の各機関との連携を図り支援し、また研究・開発や専門職育成に努めます。



〒266-0005

千葉市緑区誉田町 1-45-2

TEL 043-291-1831 FAX 043-291-1857

ホームページアドレス

<http://www.chiba-reha.jp/>



東京パラリンピックにスポーツ医として参加

東京パラリンピックにおいて、当センターの菊地センター長がパラテコンドーの選手用医療統括者 (Athlete Medical Supervisor; AMSV) に指名され、2021年9月2日から4日まで現地で活動しました！



今回はその活動内容について紹介します！

参加の経緯

私は日本スポーツ協会のスポーツドクターと日本障がい者スポーツ協会の障がい者スポーツ医の資格を有

しており、2018年の春頃に、パラリンピックの AMSV として幕張メッセで行われるパラテコンドーの依頼が来ました。

その後 2020 年前半は新型コロナ感染の猛威でストップしていましたが、秋以降に準備が再開し、十分な準備の後に今回の本番を迎えることになりました。



センター長 菊地 尚久

パラテコンドーについて

パラテコンドーは 2005 年から競技が始まり、今回東京でのパラリンピックが初めての正式種目での開催となりました。パラテコン

ドーは、上肢機能障害者が対象で、上肢切断者か上肢の麻痺を持つ者となります。パラテコンドーは蹴り技を特徴とする格闘技で、基本的なルールはテコンドーとほぼ同じですが、上肢機能障害者が対象であることから上肢での打撃はなしで、蹴り技のみであることと、胴部への足技だけが有効な攻撃です。



試合は八角形のコートで行われ、有効な攻撃に対してポイントが与えられ、時間内により多くの得点をとった方が勝ちとなります。胴のプロテクターにはセンサーが設置され、正確な蹴りが入るとポイントが入る仕組みとなっています。フェンシングのセンサーに似たような仕組みです。相手と至近距離で対峙し、繰り出される蹴りの応酬は非常に迫力があり、蹴りの力強さとスピード感が見どころです。

活動内容と感想

医療チームとしての対応は競技会場内に医師、看護師の配置、医務室には別に医師、看護師、理学療法士が配置されました。蹴り技を使う競技なので、足部の打撲や捻挫、骨折が多い競技です。今回のパラリンピックではメダルをめぐる激しい戦いがあり、3試合に1回程度はマットへのコールがあり、緊張感のある対応となりました。

当センターの関係者では、越野看護師、昨年度専攻医であった石本医師、現専攻医の武内医師に活動してもらいました。骨折の患者が数名、打撲を受傷した選手も数名いましたが、幸い重症の患者はなく、無事終えることができました。



センターの利用者では、パラバドミントンで金メダルを獲得された方やパラアーチェリーで活躍された方がおられます。今後ますますパラ競技が発展することを期待するとともに、センター職員も医療福祉の面から選手を支えていきたいと思えます。



外部向け研修会のご案内（WEB開催）

詳しい申込方法などにつきましては、ホームページをご確認ください。

コロナ禍に負けず、Zoom等でのweb開催を活用し千葉リハでは様々な外部向け研修会を企画しておりますのでご案内いたします。

この研修会是一般社団法人日本損傷科協会の助成を受けて実施しています

第19回 骨髄損傷リハビリテーション講習会

コロナ禍のお家で！健康に過ごす術（床ずれ）予防のポイント

配 色 期 間 参加費無料 申込み必要

2021.12/16(木)~12/26(日)

講習1
褥瘡の基礎知識と予防のためのポイント
講師 江原 三有紀（当センター 皮膚・排泄ケア認定看護師）

講習2
褥瘡予防にプラスワン！
1 皮膚チェックのワンポイント
講師 江原 三有紀（当センター 皮膚・排泄ケア認定看護師）
2 食べることから褥瘡を予防しよう！
講師 飯塚 祥太（当センター 管理栄養士）
3 クッションを調整していますか？
～空気式クッションに焦点をあてて～
講師 後藤 達也・太田 直樹（当センター 理学療法士）

お好きな時間に動画をご覧ください

今日のWEBセミナーのご紹介

- YouTube を利用したオンデマンド配信です。インターネット回線とインターネットに接続が出来るパソコン、スマートフォン、タブレットをご用意ください
- 申込みが必須になります。申込みメールアドレス宛に配信専用の特設サイトのURLをお送りします。詳細は、要項をご参照下さい
- 配信動画を視聴するために特別なソフトやアプリケーションのダウンロードは不要です

申込みから配信動画の視聴までの流れ、詳細は、要項をご確認ください
主催者：千葉県千葉リハビリテーションセンター

よりよい変化のために知っておきたい変化を向け研修

第4回 小児高次脳機能障害 支援者向け研修会

2022年2月3日(水)~9日(水) Web開催
オンデマンド配信 生配信視聴はいつでも可能です

講義1
小児高次脳機能障害概論
・子どもの高次脳機能障害とは
（千葉リハ小児神経科）
・子どもの高次脳機能障害支援の流れ
（千葉リハ小児高次脳機能障害リハビリコーディネーター）

講義2
復学支援の実際
・復学支援における特別支援教育
（千葉県立後・徳村小児学校 特別支援教育コーディネーター 赤木麻子氏）
・事例を通して考える復学支援
（千葉リハ小児高次脳機能障害リハビリコーディネーター）

対象者 医療・福祉・教育・行政関係等の支援者の皆様

定員 300名（先着順）参加費無料

申込締切 2022年1月14日
定員になりましたら受付を締め切らせていただきます

主催 千葉県千葉リハビリテーションセンター
小児高次脳機能障害リハビリセンター
小児高次脳機能障害支援センター

